



新潟県

離れて気づいた地元の魅力、働いて実感できた学びの力。東北工業大学を経て、地元へのUターンを選んだ卒業生の声を集めました。



- ① 仕事の内容
- ② 仕事のやりがいや魅力
- ③ Uターンの決め手
- ④ 学生時代を振り返って
- ⑤ 地元の魅力

先輩に聞いた
5つの
質問

株式会社
加賀田組
本社所在地：新潟市



一緒に地元を盛り上げましょう！

S.M.さん

建築学部 建築学科
2024年3月卒業

重ねた努力が達成感に変わる 建築完成の瞬間が醍醐味です。

- ① 土木・建築・舗道・開発の4事業を展開する総合建設会社で、建築部の施工管理として現場を担当しています。業者と打ち合わせを行い、工期が遅れた場合は上司や作業員に報告・相談・共有し、図面や書類の作成にもあたります。
- ② 工事が進むにつれて建物がだんだんと形になり、最後に足場が外れて全景が見えたとき、「自分がこの建物を建てた」という達成感を実感できました。
- ③ 地元に戻って地域経済の活性化に貢献したいという気持ちがきっかけです。
- ④ 建築の幅広い分野を学んだことで、施工管理の仕事でコンクリートの荷下ろし時間や打ち重ね時間などを守り、品質管理に役立てることができました。
- ⑤ 四季をはっきりしていて、特に米や水がおいしいと感じます。地元は人が少なく、住み慣れた街でもあり、落ち着ける場所だと気づきました。

第一建設工業
株式会社
本社所在地：新潟市



安心できる未来を一緒に造ろう！

U.I.さん

工学部 都市マネジメント学科*
2018年3月卒業
※現：都市工学課程

地元を支えるインフラの仕事に 大きなやりがいを感じます。

- ① 社会インフラ全体を担う建設会社で、鉄道の修繕工事を担当。特殊な大型保線機械を使い、列車が安全に走行できる状態に線路を保持しています。
- ② 安全性と効率性を両立しながら保線機械を操作するためには迅速かつ適切な判断と精密な技術が必要です。重責と自分が列車の安全運行を支えているという実感、大きなやりがいを感じます。
- ③ 「地元の役に立ちたい」という気持ちが強く、安定して働ける地元の手企業であるこの職場に魅力を感じました。
- ④ 授業や部活動を通じて人と多く関わり、コミュニケーション力が鍛えられました。上司や先輩との関わりなど、仕事の中で当時の経験が活かされています。
- ⑤ 人情あふれる方が多く安心して暮らすやすく、気取らず自然体でいられます。離れてみて、地元の穏やかさや居心地の良さに改めて気づくことができました。

株式会社
福田組
本社所在地：新潟市



暮らし慣れた街で、新しい挑戦をしよう！

H.O.さん

建築学部 建築学科
2025年3月卒業

日々完成に近づく建物に 手応えを感じられ得る仕事です。

- ① 建設工事の請負、企画、設計、監理、コンサルティング業務を行う総合建設会社で、工事写真撮影や指示、日報作成などの施工管理を担当しています。
- ② デスクワークが苦手な私にとって、日々でき上がっていく建物を見ながら現場で対話し協力し合う変化に富んだ毎日を送れることが、この仕事にしかない魅力です。朝礼のあいさつや作業員との対話を通じ、コミュニケーション力も上がってきていると感じます。
- ③ 小さい頃からなじみのあった会社で、信頼度が高かったことが大きな理由です。震災を経て建設業の発展がめざましい東北の地で学んだ知識で、生まれ育った地元へ貢献したいと考えました。
- ④ 授業のエスキースで培った発想力を施工管理の現場でも発揮できています。
- ⑤ お米など食べ物のおいしさ。慣れ親しんだ味が一番だと感じました。

株式会社
本間組
本社所在地：新潟市



地元から全国へ、挑戦し続けよう！

S.A.さん

工学部 都市マネジメント学科*
2024年3月卒業
※現：都市工学課程

生まれ育った地元で根ざし 全国の現場で挑戦できます。

- ① 総合建設会社で、施工管理職として土木工事の現場に携わっています。
- ② 自分が関わった構造物が地図に載り、長く地域の役に立ち続ける点。日々課題と向き合い、チームをまとめ、解決へ導いていく過程に面白さがあります。多くの方々と協力し構造物を完成させられたときは大きな達成感を得られます。
- ③ 生まれ育った地域に貢献できる仕事に就きたいと考え、新潟県に本社を置き「地元で根ざしながらも、全国の幅広いフィールドで挑戦できる」現在の職場に魅力を感じ、Uターンを決めました。
- ④ 測量・構造・土質・地盤など土木の基礎を幅広く、実践的に学ぶことができました。現場に必要なチームワークやコミュニケーション力も身につきました。
- ⑤ 一度離れて生活したことで改めて地元新潟県の自然の豊かさや暮らしやすさ、人の温かさ、安心感に気づきました。

新潟県の奨学金返還支援制度

令和9年度から、従業員の奨学金返還を支援する中小企業等を対象とした支援制度を開始します。これにより、対象企業に就職すると、奨学金の返還支援を受けられる可能性があります。

お問合せ

新潟県産業労働部 しごと定住促進課
TEL.025-280-5635